

# 青少年ゆざわ

青少年育成湯沢市民会議

令和2年2月28日 発行

## 青少年育成湯沢市民大会



### 人生に向かって

青少年育成湯沢市民会議

会長 川村 忠司

小中高生の皆さん、新しい年を迎え、「今年こそ」と希望に満ちた日々をお過ごしのことと思います。私は、皆さんより先に実社会に出たものとして、これから先、逞しく生きてゆく皆さんの将来をお祝いする意味を含めて、感じていることを少しだけ述べてみたいと思います。

私は昭和という時代の初期にこの世に生を受けました。皆さんもご存じのとおり、当時、日本はアメリカやロシア(旧ソ連)などの大国を相手に世界が多くを巻き込み戦争を繰り広げておりましたが、結果、大空襲や広島・長崎への原爆投下などにより、日本は大きな傷跡を残し、戦争は終結しました。しかし、昭和の後期には、日本は高度経済成長を遂げ、平成の時代は戦争もなく、今や平和国家として歩み始めており、国民の生活も豊かになりました。これまでに生きてきた自分の人生を振り返ってみますと、戦前・戦時中・戦後、そして、現在に至るまで、私は様々なことを経験してきました。現在に至るまで、私には、これまでの人生を通して大切にしている思いをいくつか挙げてみます。

- 一、夢を描いて生きる心
- 一、何事もやり遂げる心
- 一、人と人との和を大切にすること
- 一、互いに助け合う心
- 一、出会った人に感謝する心

私は、これまでの人生で多くの人に支えられ、そして時には、自分が人を支えなければならぬこともありました。こうした人とのつながりが私自身の心を成長させてくれたものであると実感しています。これからの次代を担う皆様が、社会における人と心のつながりを大切に、希望に満ちた洋々たる人生を歩み、それぞれの道で活躍されることを期待しています。

